

Title	神谷傳造教授略歴・著作目録
Sub Title	Chronology and bibliography of the writings of Professor Denzo Kamiya
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2002
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.94, No.4 (2002. 1) ,p.821(257)- 825(261)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20020101-0257">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20020101-0257</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 神谷 傳造教授 略歴・著作目録

\*2002年3月31日をもって慶應義塾大学  
経済学部を定年退職するのにもない、  
本学会を退会する会員の略歴・著作目録  
を次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

## 神谷 傳造教授 略歴・著作目録

2002年1月25日現在

### 学 歴

1959年3月 慶應義塾大学経済学部卒業

1961年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程終了

1968年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程終了

### 国外留学

1963年9月より昭和1967年3月まで

ハーヴァード大学大学院文理学科博士課程（数理経済学および計量経済学，貨幣経済学を専攻）

フルブライト・スカラーシップ

1972年9月より昭和1974年8月まで

ケンブリッジ大学経済学政治学部研究生，ゴンヴィル・アンド・キース校所属（資本理論の研究）

ブリッティッシュ・カウンシル・スカラーシップ

### 職 歴

1961年4月 慶應義塾大学経済学部副手

1962年4月 慶應義塾大学経済学部助手

1967年4月 慶應義塾大学経済学部助教授

1977年4月 慶應義塾大学経済学部教授 現在に至る

1989年4月 早稲田大学大学院経済学研究科非常勤講師（理論経済学特論担当，隔年）現在に至る

1998年4月 明海大学大学院経済学研究科非常勤講師（理論経済学特論担当）現在に至る

1980年9月より1981年8月まで

香港大学社会科学部経済学科客員講師（経営経済学の講義および演習）

1994年3月より1994年7月まで

ローマ社会科学国際自由大学政治学部客員講師（日本経済論の講義）

この間1989年9月より1990年8月まで

慶應義塾派遣留学によりケンブリッジ大学経済学政治学部訪問研究員，ウルフソン校所属

1996年10月より1997年1月まで

慶應義塾ケンブリッジ・ダウニング校交流計画によりダウニング校ヴィジティング・フェロウ

## 学会及び社会における活動等

1967年4月	日本経済学会（理論・計量経済学会）会員	現在に至る
1969年4月	財団法人東京経済研究センター理事	1970年3月まで
1968年9月	農林省農業総合研究所理論研修講師	1970年12月まで
1969年9月	農林省林業試験所統計学研修講師	1969年12月まで
1971年9月	大蔵省理論研修講師	1971年12月まで
1994年4月	財団法人三菱銀行国際財団専門委員	現在に至る
1994年6月	文部科学省教科用図書検定調査審議会委員	現在に至る
1994年10月	建設省建設大学校講師	1995年10月まで

## 主要著作

### A. 論文

1. 「顕現的選好の理論と積分可能性の問題：消費者行動論の基礎をめぐって」『三田学会雑誌』第53巻，第10－11合併号，1960年11月
2. “A Note on the Strong Axiom of Revealed Preference.” *Economica*, Volume 30, Number 1, 1963年2月
3. 「生産の理論に関する覚書」『三田学会雑誌』第56巻，第4号，1963年4月
4. “Stability and Speeds of Adjustments: A Critical Note.”（福岡正夫と共著）『季刊理論経済学』第14巻，第2号，1964年2月
5. “On the Financial Constraint of Production.” *Keio Economic Studies*, Volume 12, Number 1, 1975年6月
6. 「新ケインズ派成長論」荒憲治郎編『経済学6 経済成長論』有斐閣，1976年5月
7. 「危険回避と企業の資金調達計画」『三田学会雑誌』第70巻，第2号1977年4月
8. 「ピエロ・スラッフア」『現代思想』6月臨時増刊号「現代思想の109人」1978年6月
9. 「巨視的分配論」熊谷尚夫，篠原三代平編『経済学大辞典Ⅰ』東洋経済新報社，1980年1月
10. 「ケインズの利子と投資の理論」『経済セミナー』第329号，1982年6月
11. 「有効需要原理と価格理論」『三田学会雑誌』第82巻，特別号1990年3月
12. 「トービンのq理論の展開と応用における問題点」大石泰彦，福岡正夫編『経済理論と計量分析』早稲田大学出版部1992年3月
13. 「経済学における理論研究と事実認識—経済学教育の問題点」『三田学会雑誌』第90巻，第3号，1997年10月
14. “A New Approach to Economic Growth with Endogenous Government Spending.”（邵宜航と共著）Keio Economic Society Discussion Paper Series, No. 00-3. 2000年6月

15. 「動的計画における横断条件について」『三田学会雑誌』第93巻, 第2号, 2000年7月
16. 「自由放任の復活?」『三田学会雑誌』第93巻, 第4号, 2001年1月
17. 「マクロ経済政策の有効性」慶應義塾大学経済学部現代経済学研究会編『経済学による政府の役割分析』慶應義塾大学出版会, 2001年3月
18. 「『リカードの等価性定理』の膨張」『三田学会雑誌』第94巻, 第4号, 2002年1月

#### B. 書評

1. John Hicks. *Capital and Time*. 『週刊エコノミスト』第53巻, 第17号, 1975年4月22日
2. Luigi L. Pasinetti. *Growth and Distribution*. 『三田学会雑誌』第70巻, 第3号, 1977年6月
3. 小宮 隆太郎『「現代経済学」の解剖』『週刊東洋経済』近代経済学シリーズ, 第48号, 1979年5月
4. John D. Hey. *Economics in Disequilibrium*. 『學鑑』第79巻, 第1号, 1979年1月
5. George R. Feiwel (editor), *Samuelson and Neoclassical Economics*. 『學鑑』第79巻, 第12号, 1979年12月

#### C. 翻訳

1. 『ソロー 資本 成長 技術進歩』(福岡正夫, 川又邦雄と共訳) 竹内書店, 1970年11月
2. 『スティグラー 産業組織論』(余呉将尊と共訳) 東洋経済新報社, 1975年12月
3. 『ハーコート ケムブリッジ資本論争』日本経済評論社, 1980年12月
3. 「総括」『サミュエルソン経済学体系3. 資本と成長の理論』勁草書房, 1995年9月

#### D. 学会口頭発表

1. “A General Equilibrium Theory of Money and Economic Growth.” The Fourth Far Eastern Meeting of the Econometric Society, 東京, 1969年6月
2. “Essential Properties of Interest and Money: An Examination of the Foundation of Keynes's Theory of Interest.” 東京経済研究センター, 第17回逗子コンファレンス, 逗子, 1979年3月
3. 「完全雇用政策の分配効果」理論・計量経済学会, 昭和60年度大会, 仙台, 1985年9月

#### E. 解説および随想

1. 「サミュエルソンと近代経済学」『三田評論』第708号, 1971年10月
2. 「ケンブリッジ経済学雑感」『東洋経済 書窓』第21号, 1975年11月
3. 「サミュエルソンの理論的業績」『経済セミナー』第250号, 1980年11月
4. 「顕示選好」「資本」「マッフェオ・パンタレオーニ」『平凡社大百科事典』平凡社, 1985年11月
5. 「現代マクロ経済学」(福岡正夫と共著)『三田学会雑誌』第87巻, 第1号, 1994年4月
6. 「学問と常識」慶應義塾大学弁論部エルゴー会機関誌『Ergo』第28号, 2002年1月